

平成27年度 社会福祉法人八康会 事業報告

総 括

平成10年8月に特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、ケアハウス、在宅介護支援センターを開設した当法人は、その後ヘルパーステーションや居宅介護支援事業所などを開設し、久御山町内の中核的な施設として地域との関わりを深めながら事業運営を行ってきた。

(利用者サービスの質の向上)

各事業所においては利用者の命と尊厳を守り、一人ひとりが楽しいと感じる暮らしと、健康で生きがいをもって日々の生活ができるように、利用者サービスの質の向上を第一に事業を展開してきた。法人のすべての職員が、利用者の笑顔と満足を求めて、利用者の立場に立ち、安定した良質なサービスを適切に提供できるよう努めてきた。

介護従事者による高齢者虐待の報道が目立った年度であったが、法人理念を全職員が共有化し、法令遵守の徹底を図り、虐待ゼロをめざす取り組みや研修を実施した。

(福祉サービス第三者評価の受審)

サービス内容及び質の現状を客観的に把握し、利用者サービスの向上に資するため、当法人としては初めて特別養護老人ホームにおいて「福祉サービス第三者評価」を受審した。

これまでの種々の取組状況を評価し見直しを図るため、システムとしてサービス向上に向けた取組を行うことを主眼にして、すべての事業所において、マニュアル点検を積極的に行い、全面的な見直し改定を進めるなどの取り組みを実施した。

(苦情解決システム整備)

併せて、利用者の権利を擁護し適切な施設運営を行う観点から、「苦情解決取組体制」の点検見直しを行い、システムの整備を図った。なお、社会性や客観性を確保するため、第三者委員については複数名を任命し、実質的な機能を果たせるように随時意見交換等も行った。

また、利用者や家族の声を聞くために、ご意見やご提案を受け付ける苦情箱の設置など、よりよい施設づくりを目指した取り組みを行った。

(広報活動)

広報活動については、利用者サービス向上や職員確保にとっても重要であるが、今年度は特別養護老人ホームにおいて広報誌の発行を定期的に行うなど施設の情報の発信を行い、また、ホームページを積極的に活用し、随時更新を図るように努めた。今後は、運営情報の開示を含め、さらなる充実強化が必要である。

(地域との連携)

久御山南病院との合同夏まつりを始めとして、小学生との交流や中学生の体験学習受け入れ、利用者の外出支援など、地域住民との交流に努めてきた。

今年度は、社会福祉法人の使命として地域貢献を行う一環として、久御山町と「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結した。熊本地震においてもクローズアップされたように、災害時における実際の対応は今後の課題である。

(人材確保)

全国的にも介護関係での人材不足が大きな課題となったが、当法人にとっても、人材確保は最重要課題であった。極めて厳しい応募状況の中で、相当困難を極めたものの、求人活動強化・施設のアピール活動その他により、1年間を通して職員の安定的な確保に努めてきたが、職員の離職防止を含めた対応が重要である。

(経営の安定化)

経営面では、介護報酬の改定年度にあたり厳しい状況ではあったが、特に稼働率低下による減収が顕著となった年度であった。特に、特別養護老人ホームにおける入院者及び退所者発生後の空床運用の進め方やショートステイの稼働率向上が課題であった。

今後は、収入の確保と経費削減を基本として、より経営的感覚をもって取り組みを強化することが求められる。

1、 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

定員 60 名

利用者一人一人に寄り添った介護の充実を図ることに重点を置き、個別処遇計画に基づく個別ケアを中心にサービス提供を行ってきた。毎月の会議等で業務改善を行うことで、利用者と共に過ごす時間の確保ができたことなど一定の効果はみられた。

職員の資質向上については、施設外の研修に参加することや、各委員会（事故防止、身体拘束廃止、処遇改善、感染症対策、褥瘡予防対策）主催による苑内研修も行き、施設内での研修に生かすことができた。

今後も、継続しながら個々のサービス内容の見直しも進め、よりよいサービスの提供を行う。

(1) 施設利用状況

施設の利用状況は、表 1 のとおりである。平成 27 年度の年間延べ利用者数は、20,480 人(前年比-300 人)外泊算定者を合わせた 1 日平均で 56.0 人(同-0.9 人)、ベッド稼働率は 93%(同-2%)であった。平均要介護度は 4.3 であった（同±0）。

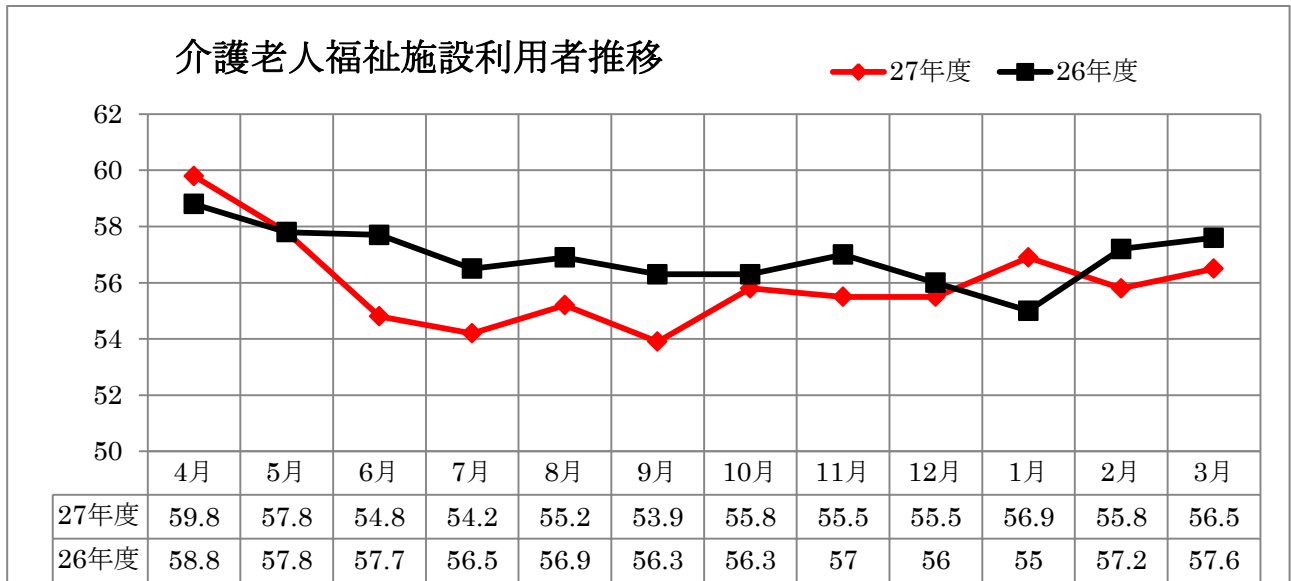
入退所状況については、昨年度に比べ、年度開始当初は退所後のスムーズな次入所予定者の受け入れにむけて、事前準備等を行い、順調であったが、7月に体調不良者が多数となり、入院日数が大幅に増えたこと(同+317)と、1月～3月の間でインフルエンザ発症（1月に1名、2月に5名、3月に4名）があり隔離対応することで次入所予定者の入所が遅れるという状況となり、稼働率低下を招いた。

平成 28 年度については、これまで以上に医療（久御山南病院）との連携を行い、入院日数の減少に対処したい。

表 1 介護老人福祉施設の利用状況

特養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
平成 27 年度	延利用者数	1,793	1,793	1,644	1,679	1,710	1,618	1,729	1,664	1,720	1,763	1,617	1,750	20,480
	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
	1日平均(人)	59.8	57.8	54.8	54.2	55.2	53.9	55.8	55.5	55.5	56.9	55.8	56.5	56.0
	入院日数	7	69	144	192	151	128	133	95	31	62	61	50	1,123
	稼働率%	100%	96%	91%	90%	92%	90%	93%	92%	92%	95%	93%	94%	93%
前年度1日平均(人)	58.8	57.8	57.7	56.5	56.9	56.3	56.3	57	56	55	57.2	57.6	56.9	
入所者数	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	5	
退所者数	0	1	0	1	1	0	0	2	1	1	1	1	9	

図1 介護老人福祉施設の利用者数の推移



(2) 利用者の生活の状況

平成27年度の事業計画の重点項目「一人一人に寄り添った介護の充実を図る」に基づき、個別ケアの充実に取り組んだ。

毎月のフロア会議等で個別処遇計画の見直しを行った。よりよい生活を送るために何が必要で何をすべきかということに重点を置いて、見直しを行った。

施設内の生活としては、季節を感じられる行事を中心に計画し、外出行事として、お花見と外食で、季節感を感じられる行事を企画実行した。

苑内行事としては、8月に夏祭り、10月には運動会、12月にクリスマス会を行い、2月には節分お楽しみ会などが実施できたことは苑外へなかなか出かけることができない利用者にとっても非常に喜ばれた様子であった。

夏祭りについては、体調不良者多数の為中止も考えたが、規模を縮小して施行することで少しでも喜んでいただけるよう取り組んだ。

表2 年間行事

4 月	お花見 (久御山中央公園 ゆうホール 楽生苑周辺、外食 (長岡天神周辺))
5 月	おやつ作り (麩のフレンチトースト)
6 月	おやつ作り (フルーツポンチ)
7 月	流しそうめん
8 月	夏祭り
9 月	敬老祝賀式
10 月	運動会 おやつ作り (おはぎ)
11 月	
12 月	クリスマス会
1 月	
2 月	節分お楽しみ会
3 月	おやつ作り (パンケーキ)

表3 利用者の状況 (H28.3.31現在)

<日常生活>

	自立	一部介助	全介助
食事	20	11	25
起座	9	15	32
立ち上がり	7	17	32
着脱	6	10	40
寝返り	12	10	34
入浴	0	3	53
歩行	0	1	0
歩行器等	0	5	0
車椅子	0	16	34
	自立	トイレ介助	おむつ交換
排泄	4	19	33
	一般浴	車椅子浴	寝台浴
入浴種類	2	27	27

<要介護状況>

要介護1	
要介護2	3
要介護3	6
要介護4	21
要介護5	26
要介護平均	4.3

<平均年齢>

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	98	81	86.0
女	105	67	88.3
			88.1

<性別、年齢及び入所期間>

区分	～ 6ヶ月未満	6ヶ月以上 ～ 1年未満	1年以上 ～ 3年未満	3年以上 ～ 5年未満	5年以上 ～ 10年未満	10年以上 ～ 15年未満	15年以上 ～
65～69歳 男							
65～69歳 女					1		
70～74歳 男							
70～74歳 女							
75～79歳 男							
75～79歳 女			3			1	
80～84歳 男			1	2			
80～84歳 女		2	5	1	2	1	2
85～89歳 男						1	
85～89歳 女	2		2	2		1	1
90～94歳 男							
90～94歳 女	1		6	4	4	1	1
95～99歳 男			1				
95～99歳 女			3			1	
100～104歳 男							
100～104歳 女				1	2		
105～歳 男							
105～歳 女				1			
	3	2	21	11	9	6	4

<認知症老人の日常生活自立度>

区分	正常	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	その他	合計
男	0	0	0	1	0	2	2	0	0	5
女	1	0	6	6	7	16	15	0	0	51

<障害老人の日常生活自立度>

区分	正常	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	その他	合計
男	0	0	0	0	2	0	1	1	1	0	5
女	0	0	0	1	3	9	23	0	15	0	51

(3) 健康管理について

定期的な健康管理として、毎年4月に一般健康診断を行っている。何か異常があれば追加検査を行い、嘱託医より家族に説明を行い、今後の治療方針を相談・決定している。

平成25年度より、NST会議（栄養サポートチーム会議）を発足し、特養利用者60名の既往歴に基づいた追跡検査等を行い、再発等健康管理をすることで予防をしていくことを目的としている。

入院者数について、延べ26人実人数24人（入院病名として肺炎、気管支炎・骨折・酸素濃度低下、尿路感染等）月平均3名入院している。死亡者については、8名（内入院中8名 施設内0名）であった。利用者の高齢化及び要介護度の上昇があり、入院者及び入院日数が増加してきており、稼働率に影響が出ている。

感染対策としては、地域での感染症情報の収集、施設内の感染症の把握、感染症の知識を職員で共有するなど、感染症対策委員会を中心に行ってきた。

平成27年度の感染症としては、前述したが、1月にインフルエンザA型1名、2月にインフルエンザB型5名、3月インフルエンザA型2名 B型2名発症した。予防対策として予防接種は実施していたが、開設以来初めて複数の発症があった。発症のたびに緊急感染症対策委員会を開催し、隔離方法などの対応策の検討確認や拡大防止の徹底などを再確認した。

看取りについて、平成27年度中に加算算定も含めた取り組みを行い、指針の再編集や職員にむけての研修（苑外・苑内）を行った。実際に看取りの実績はないが、体制を整え取り組んでいきたい。

(4) 栄養管理について

食事提供では平均栄養基準と実績（カッコ内）は、熱量1450kcal(1630cal) たんぱく質51g(66g)であった。利用者個々の身体状況、嗜好に配慮した食事提供ができた。また嚥下・咀嚼機能の変化、疾病状況の変化に添い、迅速に対応できるよう給食委託業者と調整しながら行った。

厨房内の衛生管理については委託業者内研修や情報提供などで、感染予防に努め対応できたが、これからも一年間を通し、緊張感をもって衛生面や環境整備に今後も取り組み、予防に努めていく。

栄養ケアマ・マネジメントでは個々の栄養管理について多職種で構成される担当者

会議、南病院とのNST会議で食種の経緯・体重変化・血液データ・栄養状態のレベル、栄養ケアの経過報告等を基に今後の改善目標を設定し、一人一人の利用者の状況、変化に対し、健康維持・疾病予防・栄養改善のための具体的な提供方法を検討し、実施をはかってきた。また、摂食・嚥下障害対象者にむけて多職種による協働で口から食べる支援を経口維持計画を立て実施することでさらに栄養管理を強化していくことができた。

お誕生日食・行事食（特養・ショート・ケアハウス・デイ）

行事名	実施日	内容
4月お誕生日食	4月22日	すき焼きパーティ
節句の日	5月1日	ちらし寿司、鯛の潮汁、柏餅
5月お誕生日食	5月23日	松花弁当(押し寿司、まなカツオ西京焼き等)
6月お誕生日	6月15日	洋食ランチ(真鯛のポアレもしくは牛ヒレロースト)
七夕会	7月7日	天の川そうめん、鱧天ぷら、鴨ロースト等
7月お誕生日食・土用の丑	7月24日	鰻丼、真鯛のしそ巻き揚げ等
8月お誕生日会	8月10日	精進散らし、小鯛の塩焼き、天ぷら、賀茂ナス等
9月お誕生日会・敬老祝賀式	9月16日	松花堂弁当(赤飯、鯛の塩焼き、天ぷら)
10月お誕生日会	10月23日	松花堂弁当(松茸ごはん、刺身盛り合わせ等)
11月お誕生日会	11月24日	寿司バイキング(握り寿司)
12月お誕生日会	12月8日	おでんパーティ
クリスマスパーティー	12月24日	クリスマスバイキング
お正月	1月1, 2, 3日	お節料理(お雑煮、海老さより手綱等)
1月お誕生日会	1月25日	鍋パーティ(蟹鍋)
節分の日	2月3日	巻き寿司、いなり寿司等
2月お誕生日会	2月27日	松花堂弁当(蟹と生姜の炊き込みご飯、刺身等)
お雛様の日	3月3日	松花堂弁当(五目散らし寿司、姫高野煮炊き物等)
3月お誕生日会	3月25日	すき焼きパーティ

その他：選択食・おやつ作り等月2回実施した

食事内容(特養)

(人)

主食									副食						胃ろう
米飯	軟飯	全粥	おにぎり	パン	パン一口大	ジャムサンド	パン粥ペースト	パン粥ゼリー	L5(普通)	L5(一口大)	L4b(軟菜食)	L4a(ソフト食)	L3(ペースト食)	L2(ゼリー食)	
6	9	14	0	0	2	1	11	2	6	7	10	10	7	4	12

特別治療食

(人)

心臓食(塩分制限食)	脂質異常食	糖尿病食	膵臓・肝臓食	貧血食	腎臓食
3	1	6	0	2	0

2、 ショートステイ（短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護）

定員 10 名

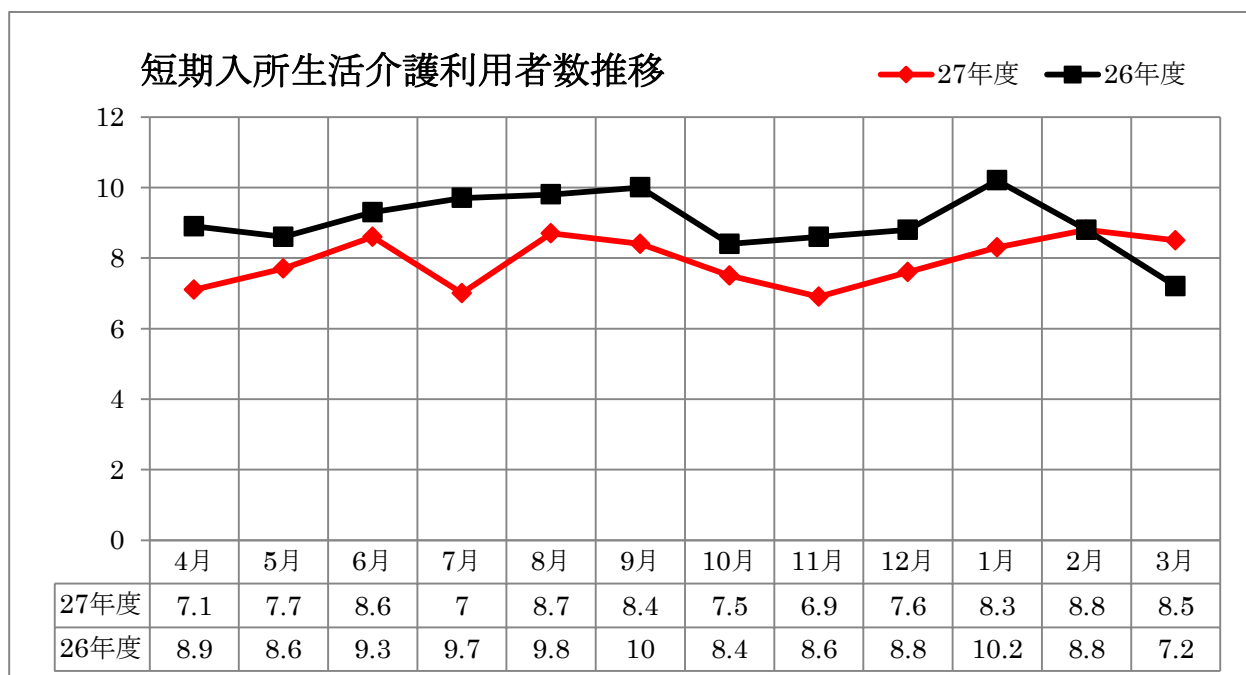
利用者数は、表 4 のとおりである。年間のベッド稼働率は 79%(前年比-11%) 延べ利用者数は 2900 人(同-396 人) の方に利用していただいた。

稼働率に関して、平成 26 年度の実績で利用者数減少の歯止めがきかず、今年度もその流れが止めれなかった状況であった。平成 26 年度に引き続き、新規利用が前年度より少なくなっているのも要因だと思われ、近隣市町村へ利用者獲得を求めたが、前年度を下回った。今後は、ケアマネジャーなどに対して働きかけを行い、利用者獲得にさらに努めたい。

表 4 短期入所生活介護利用者の状況

ショート	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
平成 27 年度	利用者 数実績	214	240	259	216	269	253	231	206	236	258	254	264	2,900
	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
	1日平均(人)	7.1	7.7	8.6	7.0	8.7	8.4	7.5	6.9	7.6	8.3	8.8	8.5	7.9
	稼働率%	71%	77%	86%	70%	87%	84%	75%	69%	76%	83%	91%	85%	79%
前年度1日平均(人)	8.9	8.6	9.3	9.7	9.8	10.0	8.4	8.6	8.8	10.2	8.8	7.2	9.0	

図 2 短期入所生活介護利用者数の推移



3、 デイサービスセンター（通所介護、介護予防通所介護）

今年度は、利用者一人一人に合ったサービスが提供できることを重点とし、個別機能訓練においては、在宅における日常生活での状態に応じた訓練の実施に努めた。サービス提供達成状況の評価を行い、さらなる充実に努めるとともに、利用中の転倒等の事故防止を目標に取り組んだ。

また、地域包括支援センターの移設に伴い空きスペースを利用した少人数短時間デイの実施を目標に取り組んだ。

一人一人にあったサービス提供については、日々の中で対応方法等検討を行う事ができたが、昨年同様にケース検討会の定例開催が目標である。機能訓練については、身体状況、訓練実施状況、訓練内容等に係る評価を月1回実施し、訓練内容の見直しや個別での関わり等状態に応じた訓練ができた。ただ、在宅での状態把握の点では、家人との連携をもう少し図る必要があった。

事故防止の取り組みにおいては、日々の中でのヒヤリハット報告や対応方法の検討を行うことができた。又、環境整備や備品点検を行うこともできた。少人数短時間デイは、準備不足等で開始時期の遅れや開始後も人数の確保ができなかった。今後については、通常デイ、短時間デイともに人数確保に向けた取り組みを行う。

(1) 利用状況

利用者数は下表のとおりである。

【7～9時間デイ】年間延べ利用者総数 5,883 人（前年比+86 人）、1日当たりの平均利用者数は、年間平均で 20.2 人（前年比+0.4 人）であった。このうち、介護予防サービスの利用者は、年間で 1,238 人（前年比-24 人）で総利用者数の 21.0%であった。

【3～5時間デイ】8月からの開始で年間延べ利用者総数 307 人、1日当たりの平均利用者数は、年間平均で 1.7 人であった。このうち介護予防サービス利用者は、年間で 62 人で総利用者数の 20.1%であった。

表1 通所介護利用者状況

【7～9時間デイ】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
平成27年度	延利用者数	484	459	541	519	518	470	523	461	494	477	482	455	5,883人
	稼働日数	25	23	26	26	26	23	26	23	23	23	24	23	291日
	1日平均	19.4	20	20.8	20	19.9	20.5	20.1	20	21.5	20.7	20.1	19.9	20.2人
	稼働率(%)	77.4	79.8	83.2	79.8	79.5	81.9	80.4	80.1	85.9	82.9	80.3	79.6	80.9%
平成26年度		19.8	19.8	20.7	21.3	20.3	20.2	19.1	19.7	19.8	18	19.2	19.2	19.8人

【3～5時間デイ】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
平成27年度	延利用者数	/	/	/	/	3	27	43	48	50	43	52	41	307人
	稼働日数	/	/	/	/	13	23	26	23	23	23	24	23	178日
	1日平均	/	/	/	/	0.2	1.2	1.7	2.1	2.2	1.9	2.2	1.8	1.7人
	稼働率(%)	/	/	/	/	4	23.4	33.1	41.7	43.7	37.3	43.3	35.6	32.7%
平成26年度		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

図1 通所介護利用者数の推移

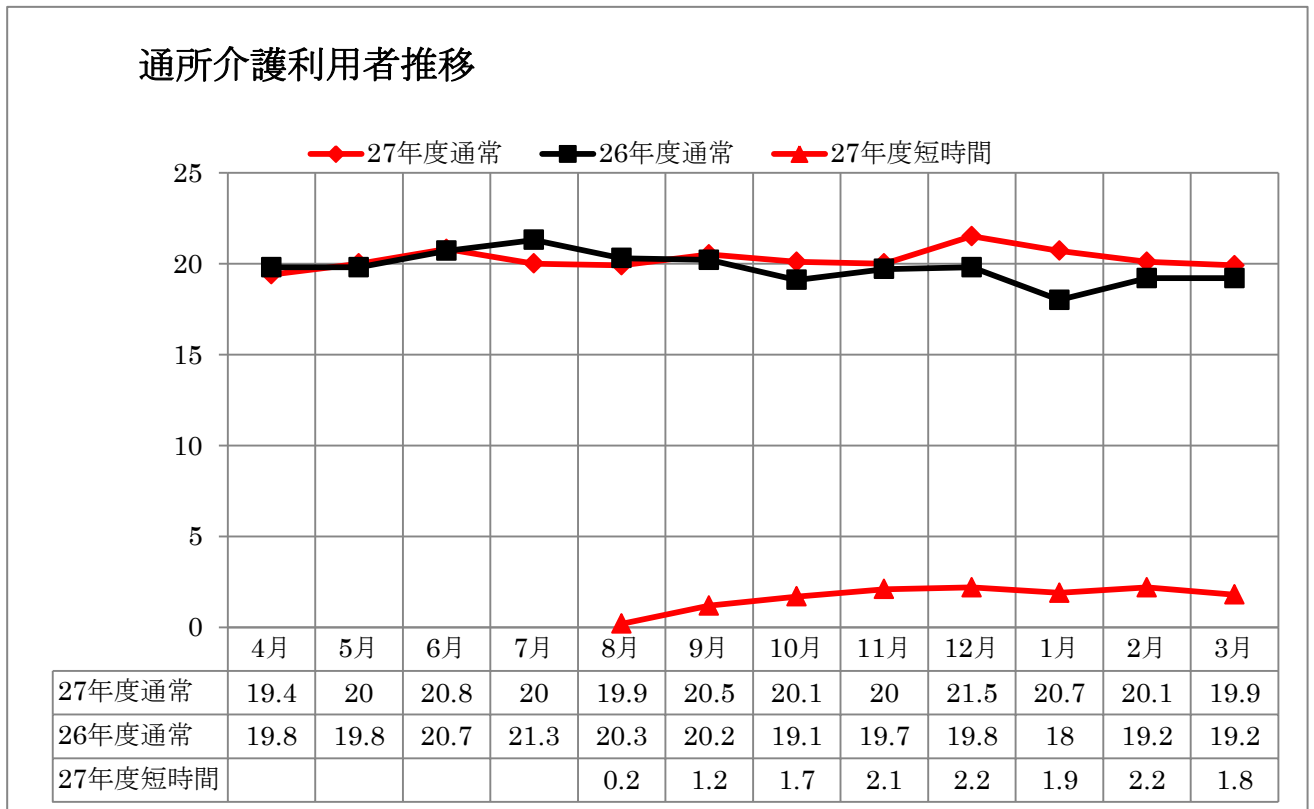


表2【年齢階層】

(H28.3.31現在)

	55～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100歳～	平均 年齢
男性			11名	5名	3名	2名	3名		83.24歳
女性	2名		2名	15名	12名	12名	2名	1名	86.99歳
計	2名		13名	20名	15名	14名	5名	1名	85.81歳

表3【介護度】

	要 支 援 1	要 支 援 2	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	平 均 介 護 度
男性	2名	3名	6名	5名	7名	0名	1名	1.8
女性	3名	10名	8名	10名	9名	5名	1名	2.0
計	5名	13名	14名	15名	16名	5名	2名	1.9

表4【利用期間】

	1年 未 満	1年 以上 3年 未 満	3年 以上 5年 未 満	5年 以上 7年 未 満	7年 以上 10年 未 満	10年 以上
男性	10名	5名	4名	3名	0名	0名
女性	10名	15名	11名	5名	2名	5名
計	20名	20名	15名	8名	2名	5名

表5【日常生活】

食事			排泄			入浴			着脱			移動						
自立	一部 介 助	全 介 助	自立	一部 介 助	全 介 助	一 般 浴	車 椅 子 浴	ス ト レ ッ ト ク ャ ー 浴	自立	一 部 介 助	全 介 助	独歩		杖・歩行器		車椅子		
												自立	一部 介 助	自立	一部 介 助	自立	一部 介 助	全 介 助
63名	6名	1名	45名	15名	10名	49名	20名	1名	40名	25名	5名	12名	4名	34名	9名	5名	1名	5名

(移動は、一部重複者あり)

(2) 行事報告

4月	花見 : 東一口
5月	おやつ作り: 桜餅
6月	買物 : イオン久御山
7月	おやつ作り: 抹茶白玉あんみつ
8月	夏祭り
9月	交流会 : 御牧幼稚園
10月	買物 : イオン久御山
11月	おやつ作り: お好み焼き
12月	クリスマス会
1月	新年会
2月	買物 : イオン久御山
3月	おやつ作り: だらやき

4、 ケアハウス

平成 10 年度に開設してから約 18 年が経過し、前年度は利用者の介護保険制度の利用が進み、入居に至るまでに、在宅生活で介護サービスを一定経験済みの方が多いが、今年度は脳疾患系・認知症疾患、糖尿病関係、眼科系等複合された病気をかかりつけ医に管理されながら、家族関係に支えながら全く介護保険サービスを受けていない老夫婦の申し込みもあった。

(1). 入退居状況

平成 27 年度は、退居者が 2 名、入居者が 4 名であった。平成 24 年 2 月以来の夫婦部屋の 1 人利用が解消された。主な退居理由は、認知症の進行等で要介護 3 となり神経内科の主治医からケアハウスの生活に支障が多く、より生活・介護環境の充実した所への移行を勧められた等。各月初日現在での年間延べ利用は 167 名であった。

(定員からマイナス12名)

表1 入居年数 (26年 27年 各年度末 在籍者調べ 以下同)

	0～3年未満		3～6年未満		6～9年未満		9～12年未満		12年以上～		合計(人)	
	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年
入居者数	8	6	0	1	2	2	2	1	3	4	15	14
年度別全体比	53%	42%	7%	7%	13%	14%	7%	7%	27%	29%	100%	100%

表2 介護度 と 入居年数

	0～3年未満		3～6年未満		6～9年未満		9～12年未満		12年以上～		合計(人)	
	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年
自立	1	1					1	1	3	4	5	6
要支援 1							1				1	0
要支援 2	2	1				1					2	2
要介護 1	4	1			1	1					5	2
要介護 2		2		1							0	3
要介護 3	1	1			1						2	1
要介護 4											0	0
要介護 5											0	0
合計	8	6	0	1	2	2	2	1	3	4	15	14

表3 年齢 と 入居年数

	0～3年未満		3～6年未満		6～9年未満		9～12年未満		12年以上～		合計(人)	
	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年	27年	26年
74歳～76歳										1	0	1
77歳～79歳	1	1			1	1			1		3	2
80歳～82歳	1	1								1	1	2
83歳～85歳	3	2							2	1	5	3
86歳～88歳	3										3	0
89歳～91歳		1		1					1		0	3
92歳～94歳					1		1				2	0
95歳～		1				1	1			1	1	3
合計	8	6	0	1	2	2	2	1	3	4	15	14

(注)

- ① 入居3年までが53%を占める。次に12年以上が27%で、この2つで半数。
- ② ケアハウス開設当初で入居年齢が60歳～70歳前半の比較的元気な人が現在も自立を維持。
- ③ 最近の入居申し込み傾向は、80歳以下ではなく、要介護認定を受けている人がすべて。
- ④ 自立の利用者と要介護度とのバランスある生活、事業が課題。
- ⑤ 最近の利用者の要介護者の問題は身体面というより、認知症に基づく問題行動が大きくなってきている。
- ⑥ 利用者の健康管理面での認知症への関心は大きく、それぞれが自分の問題として切実に捉えている。

(2) 利用者の所得階層 月別稼働率一覧

表4

階層の区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	全体比
150万円以下	1	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	5	5	66	40%
150～160万円以下	2	2	2	2										6	4%
160～170万円以下	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	9%
170～180万円以下	4	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30	18%
180～190万円以下	5				2	2	2	2	2	2	2	2	4	20	12%
200～210万円以下	7	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	4	18	11%
220～230万円以下	9	1	1	1										3	2%
290～300万円以下	16	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	7%
	計	14	14	14	13	14	14	14	14	14	14	13	15	167	100%
稼働率		93%	93%	93%	87%	93%	93%	93%	93%	93%	93%	87%	85%	93%	

(注)

- 1) 所得階層は210万円 以下が91%
- 2) 月負担額は、水光熱費を入れても11万円までが大半

(3) 介護保険サービス利用 実人数

表5 実利用者数 (年度末)

		H27	H26
実利用者		10	8
内訳	デイ利用者	10	8
	ヘルパー利用者	6	8
	福祉用具利用者	8	8

表6 利用回数 (年度末)

週利用回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合計
デイ利用実人数	3	3	3			1	10
ヘルパー利用実人数	4	1	1				6

(注)

- 1) 要支援以上の人は 全員 デイを利用
- 1) 入浴3人のデイの目的は他者との交流や脳トレを重視

(4) 行事報告

1) 入居者がそれぞれのやりたい事が継続でき、生きがいを持ち、楽しく日常生活を過ごして頂けるように、また畑や憩いの屋上等で季節感やコミュニケーションをとりながら活動していけるよう各種の行事を実施した。

表7 年間 行事 一覧表

年月	主な行事内容
4月	東一口への花見、畑の耕作、イオンへの買物、
5月	買物・昼食、さつまいも苗植え、久御山町第20回ふれあい福祉まつり参加、イオンへの買物、
6月	ミニ外出、音羽茶屋・ザめしや・未来軒 軽食、百均) 買物、イオンへの買物、
7月	4階ケアハウス避難訓練
8月	南病院・楽生苑合同夏祭り、トップセンターへの買物、さつまいも畑草取り、
9月	敬老会、イオンへの買物、
10月	イオンへ買物、天橋立マイクロバスレンタルレク利用者家族15人、全館避難訓練2階洗濯定夜間想定
11月	紅葉見物ミニ外出、(紅葉見学)、さつまいも掘り、
12月	インフルエンザ予防接種(希望者13名)、クリスマス会(プチエルパニョールチョコレート+プレゼント、(洗剤+お茶)クリスマス飾り、全館避難訓練(1階厨房出火想定 全館放送) ご利用者・ご家族へ満足度調査(アンケート)実施 翌年4月からご意見箱設置
1月	初詣(城南宮神社+ステキハウス食事会)8人、イオンへの買物、
2月	お茶会(抹茶)、イオンへの買物、ケアハウスニュース発行、4階ケアハウス避難訓練、
3月	茶話会(28年度の行事について検討)、イオンへの買物、

例年秋にリクレーションを実施していたが、今年はマイクロバスをレンタルし、天橋立へご家族の協力・参加のもと実施。今後も年1回はご家族との交流の場を兼ねてリクレーションをマイクロバスを利用して継続したい。

事業目	曜日、時間 内容
カラオケ	<ul style="list-style-type: none"> ○当初は火・木・土10:40～11:30職員指導でカラオケは楽しむことから始まったが、いつの間にか、カラオケ好きの《90歳コンビ》のご利用者が中心となり体操よりカラオケが良いと毎日となった。 ○カラオケ同好会の自主的な集まりができたことが、前年までと大きな違い。 ○時間帯も朝2時間早まって 9:30～11:30 に拡大した。
グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○機械の操作はタッチパネル形式で問題もなく、好きな曲を選曲され、操作の苦手な人には代わって操作してくれるなど交流が自然に出てきた。 ○参加者は3人～6人くらいで中には聞くことが好きな人もいる。 ○カラオケ好きは14:00～16:00まで個人で歌う人もいる。 ○月間合計歌う曲数は1000曲超と業者のディスク更新時集計有り。

2) 地域交流について

平成 27 年度は、久御山町写真同好会への参加やふれあい福祉祭りの参加や、久御山南病院と楽生苑との坊之池地域を巻き込んだ合同夏祭りへの参加。

(5). 健康管理の実施

- 1) 年 1 回の健診を実施。結果を主治医へ報告。入居者の健康管理及び維持に努めた。
- 2) インフルエンザの予防接種を行い、また感染症予防のため手洗いの励行や消毒に努めた。
- 3) 食事摂取量の変化は健康のバロメーターと考え、異常に摂取量が少ない日が継続しないか観察した。

(6). 避難訓練

年 2 回の全館避難訓練を実施した。 内 1 回は、夜間想定を実施。その他、ケアハウスだけで 2 回避難訓練を実施した。

5、ヘルパーステーション（訪問介護、介護予防訪問介護）

今年度については、訪問介護員の人数が減少し、新規の依頼に100%対応することはできなかった。しかし、新しい居宅介護支援事業所のケアマネジャーとの関わりも継続でき、今後に繋がっていきけるのではないかと考える。また、現利用者の増回利用等には対応できた為、利用者に安心していただくことはできたと思われる。介護老人保健施設への入所、医療機関への入院や在宅復帰が困難になった方等も多くおられた。

今後の課題としては、訪問介護員の増員及び離職防止への取り組みを強化し、新規の依頼や日曜日・祝日、夕方から夜間時間帯の訪問が、より安定して提供できるような態勢の構築が必要と考える。

ヘルパーの研修については、訪問件数が増加したこともあり、事業所内研修への出席率は昨年度より低下した。知識及び実技向上に繋がるようさらに内容を充実させ、出席率を向上して、スキルアップを図っていきたい。

1、研修内容

日	時	事業所内研修	外部研修
4月	9日 14日	①接遇について	
5月	12日 14日	①食中毒予防について ②疾患別ケアの方法	集団指導
6月	9日 11日	①高齢者の熱中症、脱水について ②腰痛のない身体介護術	
7月	9日 14日	①介護技術(ポジショニング等)の実技(外部講師)	
8月	6日 11日	①認知症の理解と支援について	
9月	8日 10日	①緊急時、事故発生時の対応 ②疾患別の理解とケア	
10月	13日 15日	①感染症について ②糖尿病・腎臓病食の調理ポイント	
11月	10日 12日	①法令遵守について(外部講師)	
12月	10日 15日	①意見交換会 ②事例検討会	パーキンソン病に関する病態、看護、リハビリ等の実態について学ぶ
1月	12日 14日	①パーキンソン病について ②ヘルパーの業務内容確認	訪問介護計画に沿った記録の書き方
2月	16日 18日	①記録について ②ヒヤリハットについて	
3月	15日 17日	①アンケートのまとめ報告、事業所への希望等意見交換	サービス提供責任者セミナー

2、ヘルパー派遣利用者数

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数(介護)	63	61	63	64	66	64	63	66	64	64	63	64	765
利用者数(予防)	44	45	46	45	43	45	44	43	40	40	42	42	519
合計	107	106	109	109	109	109	107	109	104	104	105	106	1,284

3、登録ヘルパー訪問回数

(単位:回)

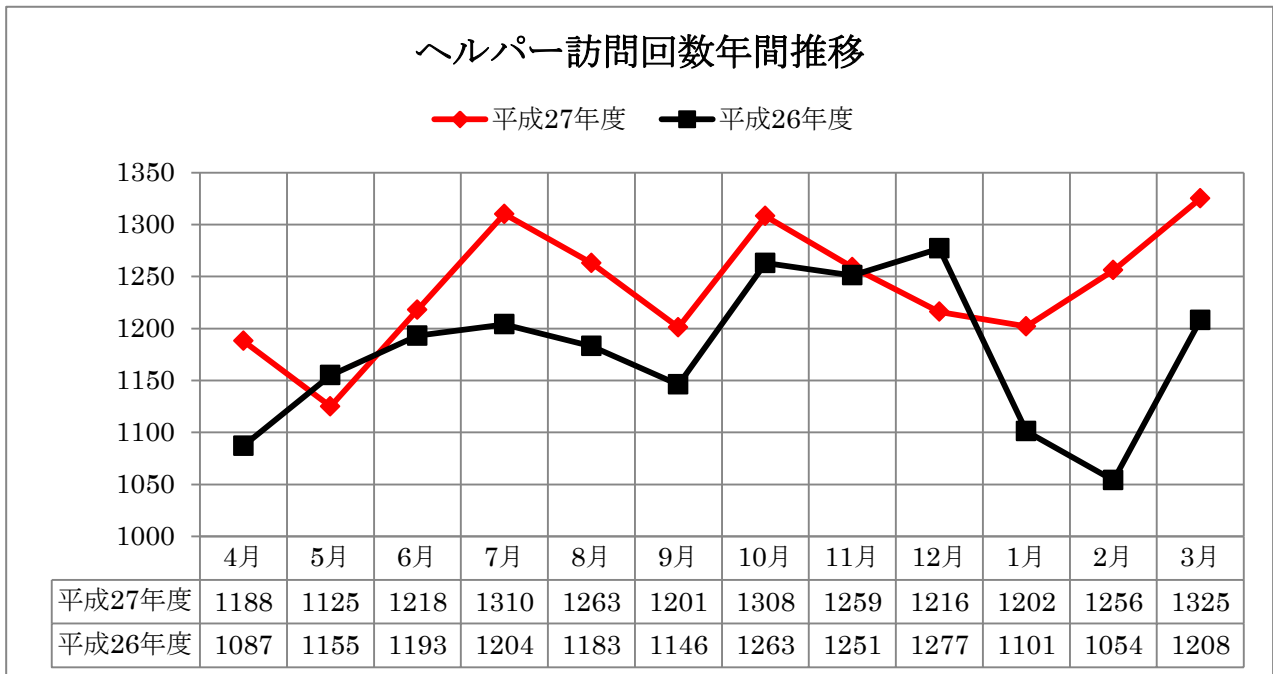
訪問回数	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	身体介護	337	308	354	367	355	390	397	395	262	435	398	443	4,441
	身体生活	67	67	57	84	89	65	89	67	63	62	81	74	865
	生活援助	575	562	626	723	660	655	768	727	693	657	727	812	8,185
合計(回)	979	937	1,037	1,174	1,104	1,110	1,254	1,189	1,018	1,154	1,206	1,329	13,491	

4、ヘルパー訪問回数前年度比較(図1)

(単位:回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度	1,188	1,125	1,218	1,310	1,263	1,201	1,308	1,259	1,216	1,202	1,256	1,325	14,871
平成26年度	1,087	1,155	1,193	1,204	1,183	1,146	1,263	1,251	1,277	1,101	1,054	1,208	14,122
増減	101	-30	25	106	80	55	45	8	-61	101	202	117	749

図1 ヘルパー累計訪問回数

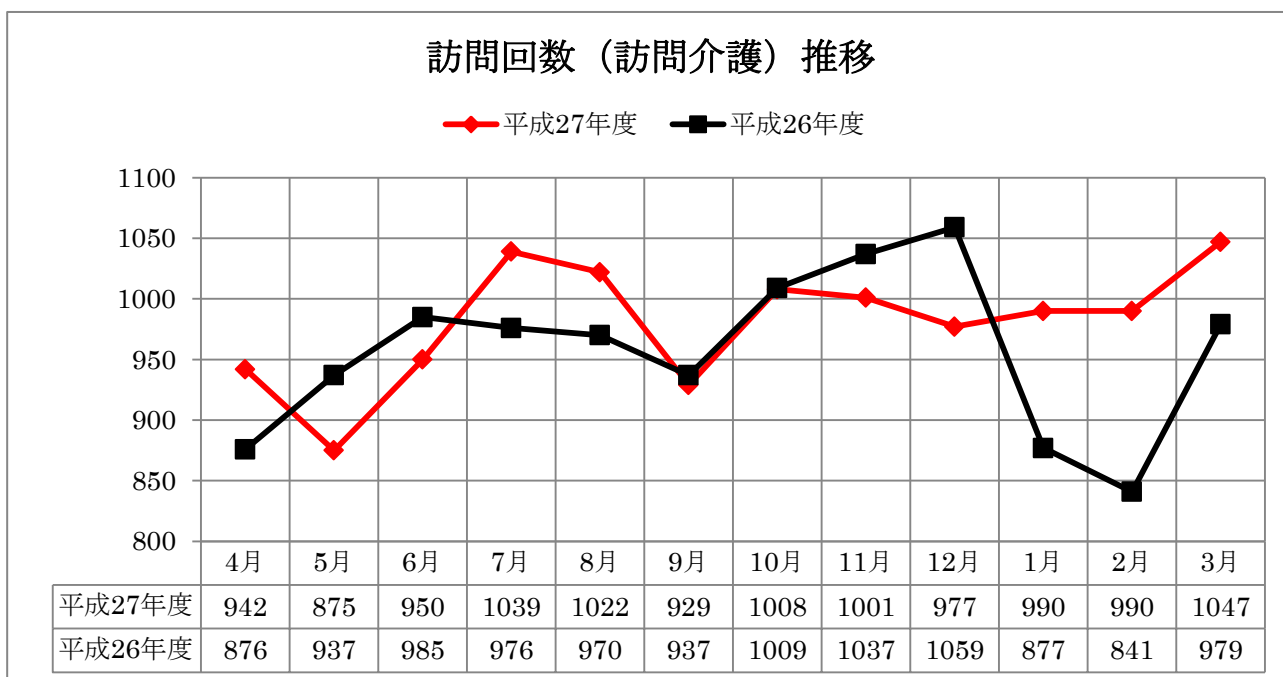


5、訪問介護ヘルパー派遣前年度比較(図2)

(単位:回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度	942	875	950	1,039	1,022	929	1,008	1,001	977	990	990	1,047	11,770
平成26年度	876	937	985	976	970	937	1,009	1,037	1,059	877	841	979	11,483
増減	66	-62	-35	63	52	-8	-1	-36	-82	113	149	68	287

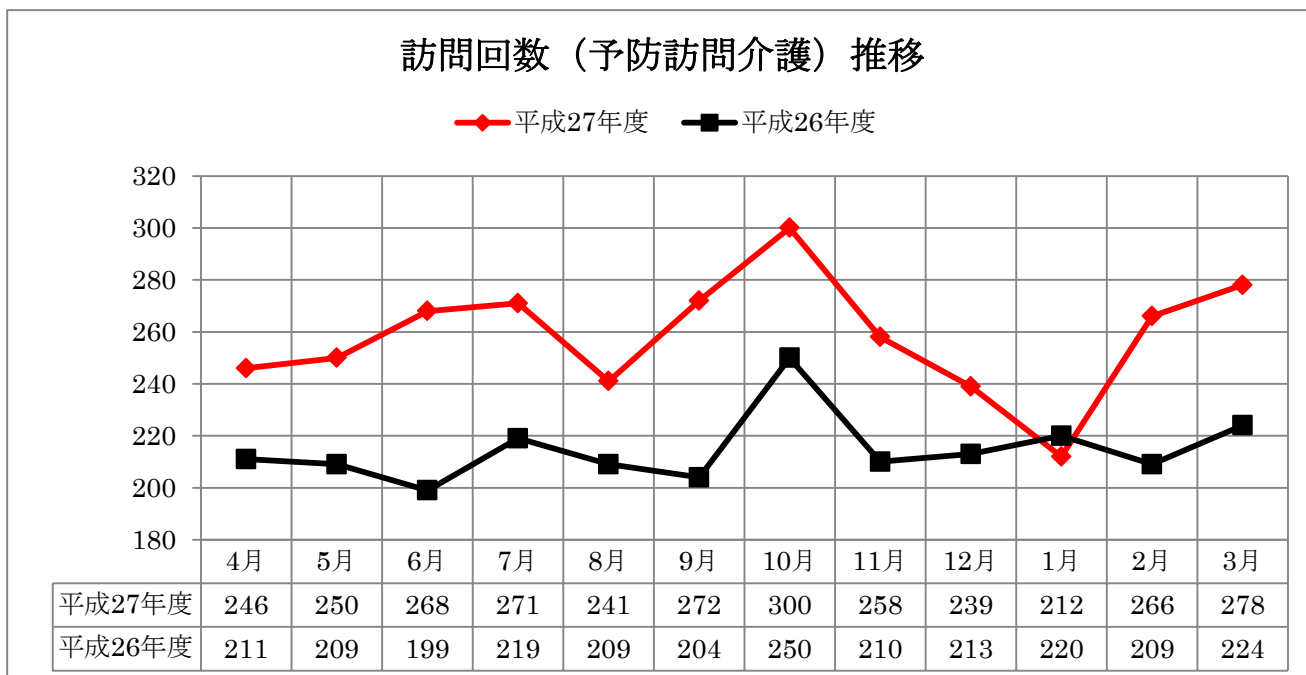
図2 訪問回数（訪問介護）の推移



6、予防訪問介護ヘルパー派遣前年度比較 (図3) (単位:回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成 27年度	246	250	268	271	241	272	300	258	239	212	266	278	3,101
平成 26年度	211	209	199	219	209	204	250	210	213	220	209	224	2,577
増 減	35	41	69	52	32	68	50	48	26	-8	57	54	524

図3 訪問回数（予防訪問介護）の推移



6、 居宅介護支援事業所

今年度は給付管理件数 160 件／月を目標にしていたが、町内の介護老人保健施設開設等の影響もあり、施設への入所者数増加に伴い、月平均 110 件＋予防給付 25 件と目標を上回ることは出来なかった。しかし、給付管理票提出件数は、1328 件(前年比＋84 件) と増加している。

介護支援業務においては、昨年度から引き続き、ターミナル支援を含む医療機関退院後の支援や介護保険サービスだけでは生活支援が行き届かないため、インフォーマル支援の併用等多種多様なニーズへの対応や各関係機関およびサービス提供事業者との調整を要する機会が増加。また、一人暮らしや高齢者世帯の支援等で、相談や訪問回数、時間等も増加している。定例会議や研修伝達会議、事例検討会等を定期的に開催し、利用者の情報を共有することは出来たが、事例の振り返り・確認を行うことは不十分に終わってしまった。

利用者満足度アンケート調査を 2 月に実施。事業所およびケアマネジャーの総合的な評価は、満足が全体の 80%、おおむね満足：14%、普通：0%、やや不満・不満：0%、無回答：7%であった。今後もアンケート調査内容の見直し等含め顧客ニーズをより深く把握するための取り組みは、継続的に行う必要がある。

平成 27 年度の課題として残った、事例の振り返りや確認を行う等継続的な事例検討等内容の充実を図り、また、他職種との連携や質の高いケアマネジメントが実践できるような取り組みを行っていく必要がある。

1. ケアプラン作成実績 (図1)

(単位:件)

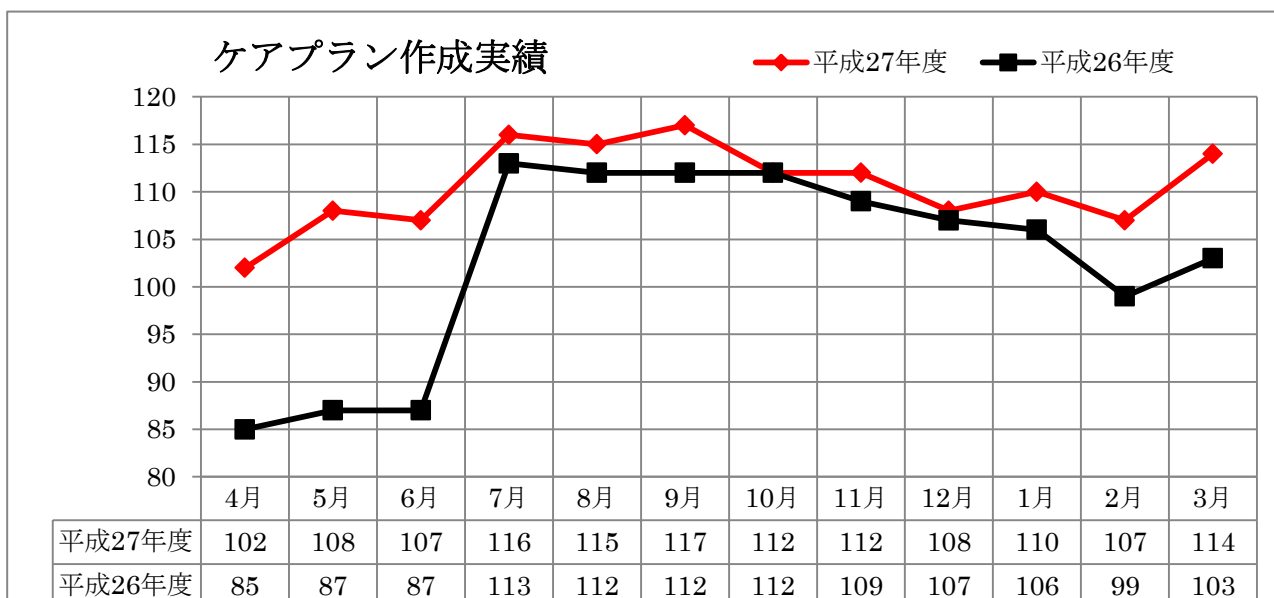
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成27年度	102	108	107	116	115	117	112	112	108	110	107	114	1,328
平成26年度	85	87	87	113	112	112	112	109	107	106	99	103	1,232

2.要介護度別ケアプラン作成実績

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計					
要介護1	平成27年度	16	17	16	21	23	28	26	25	25	23	21	26	267					
	平成26年度	15	13	13	17	19	19	17	18	14	14	13	17	189					
要介護2	平成27年度	47	49	49	50	44	42	40	41	41	41	46	44	534					
	平成26年度	32	37	35	46	46	47	47	48	45	49	44	47	523					
要介護3	平成27年度	18	22	22	24	25	26	26	28	24	26	25	28	294					
	平成26年度	24	24	24	29	24	24	23	22	24	21	20	18	277					
要介護4	平成27年度	17	16	16	15	17	14	14	13	12	16	11	12	173					
	平成26年度	9	8	10	15	17	16	19	16	19	18	17	17	181					
要介護5	平成27年度	4	4	4	6	6	7	6	5	6	4	4	4	60					
	平成26年度	5	5	5	6	6	6	6	5	5	4	5	4	62					
居宅介護支援 介護給付費別 (年間総数)		平成27年度			介護度 1～2			801			介護度 3～5			527		合計		1,328	
		平成26年度			介護度 1～2			712			介護度 3～5			520		合計		1,232	

図1 ケアプラン作成実績

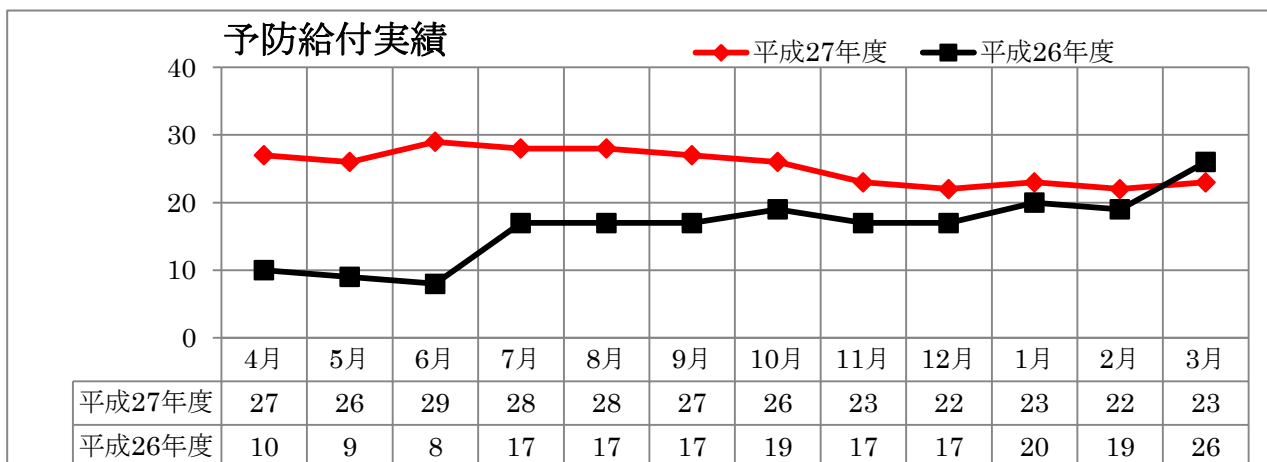


3. 予防給付(委託)実績 (図2)

(単位:件)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	平成27年度	27	26	29	28	28	27	26	23	22	23	22	23	304
	平成26年度	10	9	8	17	17	17	19	17	17	20	19	26	196

図2 予防給付実績

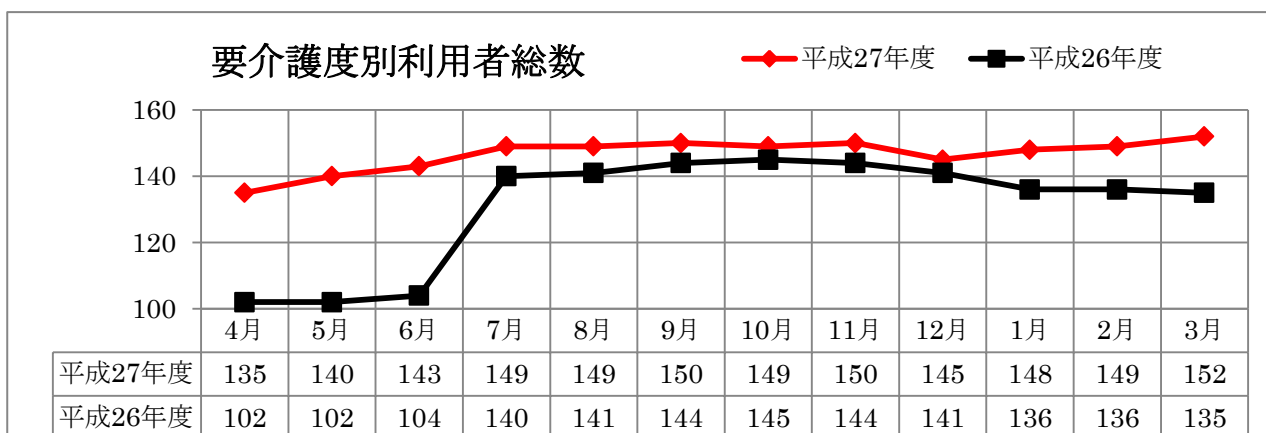


4. 要介護度別利用者総数 (図3)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	平成27年度	2	2	3	3	4	4	4	4	4	2	2	2	36
	平成26年度	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	2	8
要支援2	平成27年度	25	26	27	25	25	24	24	23	23	23	22	25	292
	平成26年度	9	9	9	17	17	17	18	17	18	19	21	25	196
要介護1	平成27年度	17	16	16	23	25	27	28	28	27	28	26	27	288
	平成26年度	16	17	17	20	21	20	20	18	16	16	17	16	214
要介護2	平成27年度	48	52	52	50	44	43	42	42	42	43	50	48	556
	平成26年度	37	36	36	49	48	50	50	50	50	50	48	49	553
要介護3	平成27年度	21	22	23	25	29	30	30	33	28	31	29	32	333
	平成26年度	24	25	26	30	28	28	28	27	24	22	22	20	304
要介護4	平成27年度	17	17	17	17	16	15	14	15	15	16	16	14	189
	平成26年度	9	9	10	16	20	21	22	24	25	21	20	17	214
要介護5	平成27年度	5	5	5	6	6	7	7	5	6	5	4	4	65
	平成26年度	6	6	6	8	7	8	7	7	7	7	6	6	81
合計	平成27年度	135	140	143	149	149	150	149	150	145	148	149	152	1,759
	平成26年度	102	102	104	140	141	144	145	144	141	136	136	135	1,570

(注) 入院者等居宅介護支援介護給付費対象外の利用者含む

図3 要介護度別利用者総数



7、平成27年度 研修一覧

特別養護老人ホーム

実施主体	研修名
一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会	第1回総会
京都府社会福祉施設経営者協議会	第30回総会及びセミナー
七条職業安定所	企業内人権啓発推進員研修会 学卒求人説明会
京都府	介護保険サービス事業者に係る集団指導
京都府	民間社会福祉施設長研修会
京都府山城北保健所	特定給食施設従事者研修会
京都府老人福祉施設協議会	新任職員研修会
リコージャパン(株)	マイナンバー制度の概要と 会社における対応について
京都府	きょうと福祉人材育成認証制度 人材育成のための研修
京都府	きょうと福祉人材育成認証制度 「個別相談会」
京都府	きょうと福祉人材育成認証制度 管理職研修
京都府	山城北ブロック施設長研修会
イケダ労務管理事務所	マイナンバー制度に係る真実と対応
ニック(株)	事例から学ぶケアマネジャーの事故対応
京都府	指導的職員研修
京都府	中堅職員研修
京都府共済会	新しい退職給付制度の事務説明会
(株)エイデル研究所	OJT 指導者研修
京都府社会福祉法人経営者協議会	第71回社会福祉法人経営者セミナー
京都府	高齢者予防施設管理者研修
京都府	京都府介護・福祉 正職員チャレンジ事業説明会
全国社会福祉協議会	社会福祉法人 労務管理セミナー

実施主体	研修名
京都府共済会	福祉医療機構 退職共済制度 制度改正に関する説明会
京都府社会福祉法人 経営者協議会	第72回 京都府社会福祉法人 経営者セミナー
京都府他	福祉の祭典 in きょうと
京都府	京都府認知症介護実践リーダー研修
介護労働安定センター	魅力ある職場づくり実践セミナー
宇治久世医師会（看取り委員会）	看取り介護の研修について
京都府、京都府地域包括ケア機構	施設職員向け看取りケア研修
京都府共済会	基金・共済会 事務手続き・会計処理の説明会
京都府	第6回 きょうと福祉人材育成認証制度認証式
京都府	組織活性化プログラム活用セミナー

デイサービスセンター

実施主体	研修名
京都府看護協会	京都府指導看護師フォローアップ研修

ケアハウス

実施主体	研修名
久御山町	第1回 地域福祉推進委員会
京都府老人福祉施設協議会	養護・軽費・ケア(サポ-トハウス)生活相談員研修会
近畿老人福祉施設協議会	アンガーマネジメント研修
久御山町	第2回 地域福祉推進委員会
ケアハウス楽生苑	第3回 南部ケアハウス相談員部会
久御山町	第3回 地域福祉推進委員会

ヘルパーステーション

実施主体	研修名
介護サービス向上推進協議会	病気・症状の理解と観察・ケアの基礎研修
(独) 南京都病院	パーキンソン病に関する病態・看護・リハビリ等の実態について学ぶ
福祉と介護研究所	訪問介護計画に沿った記録の書き方徹底研修会
一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会	サービス提供責任者研修セミナー

居宅介護支援事業所

実施主体	研修名
第二岡本総合病院	「がん患者の在宅ケア移行支援と ACP」
京都府介護支援専門員会	医療連携のポイント
京都府介護支援専門員会	企画研修
ニック(株)	事例から学ぶケアマネジャーの事故対応
京都府介護支援専門員会	第4回 京都府介護支援専門員会研究大会
京都府介護支援専門員会	看取りサポートセンター人材養成研修
京都府介護支援専門員会	主任介護支援専門員フォローアップ研修
京都府介護支援専門員会	京都府介護支援専門員実務経験者更新研修 (課程Ⅱ)
(独) 南京都病院	神経筋難病研修会
京都府医師会	在宅療養コーディネーター養成 フォローアップ研修
京都府介護支援専門員会	企画研修 ケアプラン点検